

令和7年度 気仙光陵支援学校教職員 働き方改革アクションプラン

～明るく 楽しく 元気よく～

気仙光陵支援学校では、「岩手県教職員働き方改革プラン(2024～2026)」に基づき、以下の取組により、「学校における働き方改革」を推進します。

1 現 状

【定量的現状】

- ◆ 「岩手県教職員働き方改革プラン(2021～2023)」目標達成状況
時間外在校等時間が月80時間超
・R6年度 0人(参考:R4年度 0人、R5年度0人)
- ◆ 年次休暇の取得状況について
年間一人当たりの平均取得日数
・R6年度13.6日(参考:R4年度14.6日、R5年度14.6日)
年間の年次休暇取得が5日以上の方の割合
・R6年度93.9%(参考:R4年度96%、R5年度95.7%)

【定性的現状】

- 教職員の状況
定時退庁日の設定により、施錠時間前の退庁意識が見られるようになったが、時間外勤務している教職員が固定化してきている。
- 管理職の対応
時間外在校等時間から業務量の把握を行い、可能なところから業務の見直しや改善を図っている。

2 目標・目指す姿

県の働き方改革プランの目標を前提に、以下の目標を設定します。

【学校独自の目標】

- 教職員一人一人の時間外在校等時間が前年度を下回る。
- 働き方改革の取組に対する教職員の肯定的評価80%
- 年次休暇を5日以上取得した教職員の割合95%

【目指す姿】

- ・教職員一人一人が健康で、おもしろさや、やりがいを感じながら、授業づくりや業務に取り組んでいる。
- ・スクラップアンドビルドの視点をもって業務の見直しを行い、計画的かつ組織的な業務推進の意識をもっている。

3 (2を達成していくための) 具体的取組内容

(1)	教職員の健康管理	・ 週1回のノー残業デーと、月1回の完全退庁日を実施し、勤務時間の適正管理と意識改革に取り組めます。 ・ 管理職は、時間外在校等時間45時間に迫る教職員に声掛けをするとともに、業務状況を確認し、必要に応じて個別の面談をします。
(2)	学校における業務改善の推進	・ 業務基本姿勢である「報告・連絡・相談」を徹底し「チーム」として組織的な業務推進に取り組めます。 ・ 「前例」を見直す意識をもち、計画的かつ効率的な業務推進に取り組めます。
(3)	業務の明確化・適正化の推進	・ 定例職員会議において、ICT機器を活用しながらペーパーレス化に取り組み、印刷業務の削減を図ります。
令和7年度 重点取組事項		・ 週1回のノー残業デーと、月に1回の完全退庁日を実施し、教職員の業務マネジメント意識の向上に取り組むとともに、スクラップアンドビルドの視点をもって業務の見直しに取り組めます。

4 アクションプランの周知方法

- ・ 職員会議において、プランを教職員に周知します。
- ・ 学校ホームページに掲載し、地域や保護者へ公開します。